



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男 議員
(富岳会)

県道75号について

問 新東名高速道路、新清水ICへの接続における富士宮市の戦略的な活用方法はいかがか。

部長 周辺は、急傾斜地が多いことから防災・水資源保全地域に位置づけられており、防災及び水資源の保全に支障となる大規模な造成を伴う土地利用事業の施行は認められない。しかし、県道75号の整備が完了されれば、県道を生かした沿道サービス施設、物流倉庫などの許可基準に適合したものは立地できると考えている。

問 国道469号が広域連携軸、県道190号が都市連携軸、県道75号は地区の骨格軸ということで設定されているが、優先順位として西の玄関口は国道469号が優先になるのか。

部長 拡幅工事等で県道75号が完成すれば位置づけも変わってこようかと思う。次期総合計

画の見直しの中で、この道路の位置づけ、考え方が変われば反映してくる。

市長 県道75号が西の玄関口と言うにふさわしい形にしていきたいという思いを、県のほうへ話していきたいと思う。

意見 県道75号線を西の玄関口と位置付けるのであれば、玄関口としてふさわしい整備を県に要望してほしい。

芝川中学校の校舎改築について

問 今後、人口減少による芝川地区の学校統廃合は考えているのか。

部長 学校統廃合は将来的な課題と認識しているが検討はしていない。校舎の改築にあたり、将来的に発生する空き教室の活用については、設計段階から工夫していく。

市長 統廃合は今では考えていない。芝川中学校は芝川地区の中心地域。地域の拠点学校は残すべき。10年、20年後を考え設計することが大事。

部長 市長からは、皆さんが愛着を持てる、個性ある建物を、との指示をいただいている。



わかばやし しづこ
若林 志津子 議員
(日本共産党議員団)

デジタル化で行政・暮らしはどう変わるのか

問 国が進めるデジタル化で、今まで築き上げてきた市独自の施策はどうなるのか。地方自治体が国の下請け機関となってしまうのでは。

部長 全てを標準化するのではなく17の主要業務の標準化を進める。市独自の施策は、市として解決できると考える。

問 国は2022年度(令和4年度)末までに、ほとんどの住民のマイナンバーカード保有を目指すとしている。仮に全ての住民が保有していない状況となった場合の対応策はあるのか。

部長 より多くの人にカードの保有を促進するため、市役所で顔写真の無料撮影、出張申請などに取り組んでいきたいと考えている。

問 国は「官民が協力して、相互のデータの利活用」と言及している。市としても市民の

データが民間で使われる事態に向けて個人情報保護について議論すべき。

部長 自治体が保有する情報は個人情報を含むものが多く、単純に供用や公開することは難しい。国の動きを注視し、個人情報保護条例に基づく、個人情報管理の方針との調整、問題点の整理を行っていく。

避難所生活を快適に過ごすための改善

問 段ボールベッドの導入計画と段ボール会社との防災協定は結んでいるのか。

部長 段ボールベッドを備蓄する計画はないが、避難所で睡眠を取るのに有効な資材のため、民間事業者と災害応援協定を締結している。災害時には必要に応じて提供してもらえる。

問 トイレの配置はどのようになっているか。

部長 避難所用の仮設トイレとして便座を7台設置できるテントトイレを、避難所ごとに男女別に各1張り、計2張りずつの導入を進めている。

